



平成24年 5月18日

植物繊維を利用した放射性金属イオン除去技術の提案

<概要>

福島第一原発の事故以来、放射能物質による環境汚染は深刻であり、その除去方法に関する対策は急務である。植物繊維類に有害重金属の吸着能があることは、基礎研究レベルで広く知られているが、本研究は幾つかの植物繊維が、高いセシウム、及びストロンチウムイオン吸着能を有していることを評価したものであり、それらは農業、飲料産業等から膨大に得られる副産物でもある。この知見を利用した放射性物質の除去技術について、知財部と連携し検討中である。

- ・本研究は大学院教育学研究科、石川彰彦准教授、同研究科修士課程2年、石本彩が中心に行ない、放射能汚染問題の改善につながる可能性を提案するものです。
- ・幾つかの植物繊維のセシウム、及びストロンチウムイオン吸着能について、汎用されているゼオライトと比較しながら評価しました。
- ・それらの植物繊維は農業、飲料産業等から膨大に得られる副産物でもあり、またゼオライトと異なり、焼却処分により減量化が可能な利点を有しています。
- ・研究成果については特許出願を行ないましたが、これは知的財産権を主張するものではなく、情報公開の手段としてのものです。
- ・現在知的財産本部において、東北地方被災地を中心に、本技術応用の可能性を調査検討中です。
- ・特願2012-092983 放射性物質の除去剤 (出願日 2012/04/16)

<お問い合わせ>

岡山大学 研究推進産学官連携機構

教授 渡邊 裕

電話番号: 086-251-8472

E-mail: wyutaka@cc.okayama-u.ac.jp